

## 「企業的漁業と内水面漁業の安定的発展」の進捗状況

水産課

### ○令和2年度末の進捗状況

- 魚種別分布予測システム※について、沖合底びき網漁業でシステムを活用して操業した結果、現在のところ、以下の効果を確認。
  - 1航海あたりの漁場探索に要する時間が約2時間短縮され曳網回数が約2回増加
  - 1航海あたりの漁獲金額が平年値（過去5年平均）に比べ約7%増加

#### ※魚種別分布予測システム

魚種毎の分布状況を予測し、漁業者に少ないタイムラグで情報提供することで、資源管理が減少している魚種の漁獲を避けたり、小型魚を避けて商品価値の高い大型魚を漁獲したりできる、効率的な操業を可能とするシステム。沖合底びき網漁業の主要な漁獲対象種（15種）で開発を進めている。

#### 【1航海あたりの探索に要する時間と曳網回数】

	2018年	2020年
1航海あたりの探索時間（分）	1,656	1,530 (-126)
1航海あたりの曳網回数（回）	36.0	37.6 (+1.6)

#### 【沖合底びき網漁業の一航海あたりの漁獲実績】

